

女性委員会通信

218
2015.5.22

東京都港区新橋六 七 一 川ロビル六階

全国労働組合連絡協議会 女性委員会

TEL 〇三 五四〇三 一六五〇
FAX 〇三 五四〇三 一六五三

派遣法の大改悪はNO！ 3度目の廃案にむけて国会前に集まろう！

5月20日から派遣法大改悪案の審議が衆議院厚労委員会で始まった。

派遣法は2012年の改正で労働者保護を始めて謳い、違法派遣に対する「雇用申込みなし」規定が導入され、今年10月1日から発効することになっている。その状況も見ることなく、厚労省は業界団体の意向を受け、このままだと10月には失業や訴訟が増えるとして派遣法改悪案を9月1日施行で成立させようとしている。

そのために厚労省は議員向けやマスコミ向けに5種類もの「10・1ペーパー」なるものを作成し、成立に向けた工作を行っていたことが判明している。

20日の厚労委員会は野党の反対にも

関わらず委員長職権で開催され、野党は法案を撤回して審議のやり直しを求めた。その後22日の委員会は見送られたが、27日、29日集中審議、28日参考人質疑が見込まれている。

正社員の道を閉ざし、生涯派遣につながる派遣法大改悪は許されない。5月14日には労働弁護団他の呼び掛けで日比谷野音の大集会と請願デモが取組まれた。全労協が参加する雇用共同アクションも20日昼衆議院第二議員会館前で「STOP！派遣法の改悪」の横断幕を掲げ廃案を求めて集会を行った。

今後も委員会への傍聴と国会前行動が取組まれるので参加しよう！（y）



5月1日、日比谷メーデーには会場の中と外で約7000名が参加。式典終了後は鍛冶橋コースと土橋コースに分かれてデモ行進をした。



女性委員会・学習会を開催！

- とき 2015年7月9日（木） 19時00分～
- ところ 全労協本部
- 内容 1. 沖縄平和行進の報告と交流
報告者：藤村妙子さん、中原純子さん
2. 懇親会
軽食を楽しみながら、全体交流。
3. その他



全労協「労働法制改悪反対全国キャラバン」始動！

キャラバンは5月18日からの仙台・前橋を皮切りに始まった。

5月27日夕方には東京全労協が都内各地域を宣伝カーによる宣伝行動を1日行動として取り組む。

6月9日は新宿駅西口（18時00分）で宣伝と署名活動に取組む。女性委員会も参加している。



厚生労働省でも 男女昇任昇格差別！

昨年10月に厚労省の情報統計部で働く女性が昇任・昇格差別の是正を求めて提訴した。1月に続き5月11日に第2回口頭弁論があり傍聴した。

弁論は書面のやりとりと主張の確認等15分ほどで終了。傍聴席にはこれまで男女差別で闘ってきた原告たちや支援のメンバー11名が見守った。

驚いたのは厚労省側の参加者の多さだ。何と傍聴席の1名も入れると9名もいた。今回は7月9日(木)13時半から527号法廷と決まった。弁論最終後控室で簡単な報告があった。

1回目に原告Aさんが意見陳述をしたのに直接聞けなかったのが残念だったが、のちほど意見陳述書を頂いた。原告Aさんは2種採用され、8年後に係長になったが、その後18年以上昇任していない。

一方2種同期の男性はすでに本庁の課長補佐や地方局の課長などになり、後輩の男性にも抜かれているという。

とくに旧労働省関連の統計部局では女性が多く、統計調査が政策決定の基礎になるにもかかわらず「統計プロパー」とよばれ、昇任・昇格の枠外に置かれている状況の記述に民間と同じだと実感、裁判で状況を変えたいという原告の思いに共感した。

沖縄平和行進と5・17県民大会に参加

東京全労協の「戦後70年・復帰43年・第38回の5・15沖縄平和行進」に、女性7名を含む38名の組合員たちが元気に参加した。

今年の沖縄行動は、高江ヘリパッド建設反対テント・辺野古新基地建設反対テント、キャンプシュワブゲート前テントの現地闘争支援を中心に行われ、5・17県民大会に参加する意義ある行動となった。

とくに、5月17日に沖縄セルラースタジアム那覇で開かれた「戦後70年 止めよう辺野古新基地建設！沖縄県民大会～建白書の理念を実現させよう～」は、沖縄県内外の参加者3万5千人が一体となる感動的な県民大会となった。黄色のジュゴンを先頭に最前列で参加した東京全労協の組合員たちの写真が、琉球新報号外に掲載されて大会開始直後に配布されたことに驚いた。

県民大会では、2014年の名護市長選、県知事選、衆院選などで相次いで示された辺野古新基地建設反対の沖縄の民意をあらためて国内外に発信するため「辺野古新基地NO!」「われわれは屈しない」のアピールボードを全員で掲げ氣勢を上げた。また、5月13日に設立総会を開いた「辺野古基金」には、16日現在で2億1千万円が集まり、県外からの寄付が70%を占めることが報告された。



新基地建設計画の阻止を公約に掲げる翁長雄志知事は「あらゆる手法を用いて辺野古に新基地は造らせない」と重ねて表明し、辺野古移設計画が唯一の解決策とする安倍政権に「日本の国が独立が神話と言われないように」と反論して「沖縄の人をないがしろにはいけませんよ。」と島ことばで締めくくった。

参加組合員は、横田基地反対闘争などで東京から沖縄へ連帯することを誓った。

報告・中原純子

私のお気に入り

パクチー仲間の汗とほろ苦い？味

ごく最近ハマったもの。

4月29日、毎年参加する反天皇制のデモの帰りに、野宿の仲間たちと活動するAさんからパクチーをもらった。畑を借りてみんなで野菜を作っているんだとか。なすとかトマトとか菜っ葉とか・・・、それぞれが作りたいものを作り、収穫し、共同炊事などの食材にする。グッドアイデアなのだ。

でもって、パクチー。Aさんは大好きでみんな喜ぶと思ったけれど、独特の香りと味が仲間には不評らしい。繁殖力は旺盛で畑をどんどん浸食する。で、お裾分けと相成った。ふだんは料理らしい料理もせず情けない食生活の私だが、パクチー一つでなんと豊かになることが。タイ料理屋さんを思い出したりあえずサラダに入れ、ナンプラーを使ったドレッシングで食べてみた。ベトナム風うどんにも入れた。豆腐と炒めてチャンプルー。どれも簡単でおいしい！

1日はメーデー。私たちのメーデーには寿町(寄場)の仲間も参加する。アジアの人も多い寿では、パクチーも大歓迎で「持ってきて～」の声多し。ところ変われば、だね。

「ほろ苦い」というよりホントはもっと複雑な味。みんなで作り、いっしょに食べるAさんの活動に励まされ、ほろっとしたのだ。ごちそうさまでした！

学校事務職員労働組合神奈川(がくろう神奈川)
京極紀子



雇用の場における男女差別をなくす司令塔であるべき厚労省でこんなことが今も行われているのであれば、民間の女性差別など当たり前になってしまう。「女性活躍」など絵に描いた餅にもならない。

この裁判に対する厚労省の姿勢が

男女共同参画社会基本法や均等法、女性差別撤廃条約の実現に向けたものとなるのか、役割割分業のままに差別を温存する立場に立つのか、女性委員会として注目し、原告の闘いを応援しているか。(柚木)